

ご挨拶



皆さまには日頃からValqua Technology Newsをご愛読いただき、心より御礼を申し上げます。

年初来COVID-19の影響が社会の動きに深く影を落とす中、多くの企業が困難な事業環境に晒されながら収益を確保するため、様々な工夫をしていくことが求められております。一方で、ソーシャルディスタンスやリモートワークなどの新たな社会ニーズに対応するため、多様な新製品やサービスが市場へ導入され、こうした活動が今まで以上に活発に進められるようになっております。特に、IoTやAI搭載のロボットなどの省人化に寄与することが期待される技術開発、そしてそれらを要素技術として支えるセンサー向けの材料やデバイス自体の開発、更にはデータマネジメントシステムなど、多くの企業や研究機関が今までに経験をしたことがなかったスピード感を持って、技術開発を行っている状況が見られます。

このような事業環境の中、当社は大きく変遷しつつある市場のダイナミクスに対する確に向かいあっていくため、進行中の中期経営計画であったNV・S8の終了時期を繰り上げ、本年度より新たな中期経営計画であるNF2022をスタートさせております。この新中期経営計画においては、オープンイノベーションを活用したR&Dに対する注力が大きな戦略の柱として据えられており、全社の技術開発部門はこの方針に従って、顧客の皆さまにH&Sの視点から更に付加価値の高い技術ソリューションをお届けするため、チャレンジングな技術課題に挑戦してまいる覚悟です。そして、当社はこのような技術開発に対する継続した注力を通して、NF2022に掲げた成長目標に留まることなく、2027年に迎える当社の創業100周年に向かって、飛躍的な成長が実現されることを目指してまいります。

このような背景の下、今号のテクノロジーニュースでは顧客の皆さまに執筆をご協力いただきました技術紹介、先端的な性能を持った高圧水素用途向けのシール材、更にはいくつかのH&S関連の商品や技術についての記事を掲載しております。中でも最近、プレディクティブメンテナンスのツールとして市場へ展開を開始いたしましたVALVESTA™は、様々な生産現場において今後広く活用されていく可能性を秘めた商品としてご紹介しております。このような機能性に焦点を当てたデバイス型の製品は、従来からの当社の商品ポートフォリオには無かった当社が目指す新たな技術成果の一例として、ご注目をいただきたいと思います。

今後とも、当社製品・サービスともども、このバルカーテクノロジーニュースを引き続きご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

取締役CTO 青木 睦郎